

第1回中央区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日 時：平成19年6月23日（土） 午後2時から午後4時まで
場 所：中央区役所4階会議室
出席委員：30名中26名出席（欠席委員：4名）
傍聴人：0名

<次 第>

- 1 開会
- 2 所長挨拶
- 3 委員自己紹介
- 4 事務局職員紹介
- 5 議題
 - (1) 委員長・副委員長の選任について
 - (2) 会議の公開について
 - (3) 平成19年度地域福祉パイロット事業について
 - (4) 今年度の地域福祉計画の取り組み及び開催スケジュールについて
 - (5) 地域福祉活動事例集の編集協力者の募集について
 - (6) その他

会議内容

次第に従い、会議が進められた。

- (1) 委員長・副委員長の選任について
藤井福祉事務所長を仮議長として進行。
事務局から、中央区地域福祉計画推進協議会設置要綱について説明。
委員より、委員長に武井委員、副委員長に樽見委員を推薦する意見があり、満場一致で、異議なくこれを承認。
- (2) 会議の公開について
武井委員長を議長として進行。
事務局から「会議の公開」について説明。
説明に対して質疑はなく、満場一致、異議なくこれを承認。

(3) 平成19年度地域福祉パイロット事業について

事務局より議題について説明。

都地区部会	事業名「福祉マップの作成」
末広地区部会	事業名「住民のための研修会開催」
ちば中央地区部会	事業名「地域の仲間づくり」
西千葉地区部会	事業名「緊急時、災害時一人暮らし老人、寝たきり老人見守り対策」
白旗台地区部会	事業名「クラブ活動PR運動」
松ヶ丘地区部会	事業名「防災フェスタ安全・安心のまちづくり」
寒川地区部会	事業名「子どもと高齢者を対象とした交通安全教室」
生浜地区部会	事業名「高齢者と子どもたちとのふれあい活動」
中央東地区部会	事業名「親子三代大集合」

推進協議会委員の皆様、申請事業が、地域住民にとって質の高い、幅の広いサービスとなるよう、参考となる意見、助言をいただければと思います。

< 質疑・応答 >

委員：今年度、補助金が600万円から300万円、60事業から30事業になった理由。前年度の成果等活動報告書はないのか。また、委員にも配布はできないのか。今年度の募集は、これから先もあるのか。

事務局：財政状況からみて、18年度のみ補助金の予定ではあったが、何とか19年度にも、半分ではあるが、予算がついたのが現状である。

前年度の成果等を含んだ活動報告書は、7月中をめどに、報告書を作成中である。

また、二次募集については、現在行う予定はございませんが、6月29日の審査状況をもて、行政と協議していきたいとおもいますので、今後状況が変わればご案内いたします。

(4) 今年度の地域福祉計画の取り組み及び開催スケジュールについて

事務局より議題について以下のとおり説明。

今年度は、あと、3回程会議を予定している。

次回以降は、昨年度のパイロット事業の成果等をこの席上で議題の一つ

として、発表をしていただければと思います。

< 質疑・応答 >

委員 : 推進協の場で、パイロット事業での成果等があれば意見を出し合うべきである。白旗台地区部会では、福祉マップを作成し、全世帯に配布した。商品を配達してくれる商店の掲載は、好評であった。マップ作成段階においても、何回も会議を重ね、住民の人たちが、地域福祉に関心が出ており、次の活動につながりがもてるようになった。

委員 : 実績報告書の様式を、実施状況、成果、課題等を取り入れた報告書にし、様式共通したものを作成していただきたい。

事務局 : 今の件を踏まえて、作成をしております。

委員 : 次回の会議前に、活動報告書を配布してほしい。

事務局 : 会議前に、委員の方には、活動報告書を配布します。

委員 : 西千葉地区部会では、子育て支援よい子の広場事業を実施し、補助金を有効に活用させていただきました。

委員 : 次回、発表できるところは、準備していただければと思います。

委員 : 生浜地区部会では、高齢者交通安全教室を実施し、交通事故の現状や原因等の話や実際体験車に乗り、シートベルトの効力を体験し、参加者同士の交流等がはかれた。

委員長 : 次回以降も、パイロット事業の成果等の発表ができればと思います。

地域福祉計画は、こうあるべきだという話もでてくるかと思ったのですが。

委員 : 推進協議会は、パイロット事業推進協議会ではないと思う。パイロット事業をやっていくことは、地域福祉計画の推進していく意味では、呼び水になるということで行っているときいている。基本的にやっていくことは、地域福祉の推進であって、パイロット事業だけの推進だけではないのではないか。

委員長 : 中央区の地域福祉計画をもう一回、テーマ毎に、これは誰がやったらいいのか。またはやれるのか。どうやって、このあと地域福祉計画をこなしていくべきか、そのためには、何をしたらいいのか。次回以降の課題である。

(5) 地域福祉活動事例集の編集協力者の募集について

事務局から以下のとおりに説明。

町内自治会、社協地区部会、老人クラブ、民生委員・児童委員、NPO、ボランティア、社会福祉事業者等、地域福祉活動に取り組んでいる好事例をまとめた「地域福祉活動事例集（仮称）」の作成を予定している。掲載内容は、福祉活動のお手本となる好事例を各区2件程度選定し、活動のきっかけ、内容、問題点、感想等を掲載する予定である。

編集協力者については、各区1名程度の募集を予定している。保健福祉総務課、区福祉サービス課、社協区事務所と協力し、企画・取材・編集・原稿作成のお手伝いをお願いしたい。

< 質疑応答 >

委員長： 編集協力者は、どなたか、希望する方は。

希望の方が、いないようであれば、この方を推薦したいという人がいれば、推薦をお願いしたい。

委員： 地域情報紙等に経験が豊富である樽見副委員長が適任であり、推薦します。

委員長： 他に推薦する方が、いましたら推薦をお願いします。

樽見副委員長を推薦する旨が、多数なので、編集協力者としてお願いしてよろしいか。

委員： 意義なし

(6) その他

事務局から市政出前講座について、以下のとおりに説明。

地域福祉計画を推進するためには、市民の多くの皆様に計画を周知するのが重要である。昨年度は、推進協議会の広報・PRとして推進協だよりの発行、市地域福祉計画、区地域福祉計画の公的機関への配布、市ホームページへの掲載を行った。更に、多くの市民の方が認知していただけるよう、今年度も引き続き広報・PR活動に重点を置きたいと考えている。地域の会合等の際に、市政出前講座を活用していただき、地域福祉計画の広報・PRにご協力をいただきたい。

< 質疑応答 >

特に質問なし